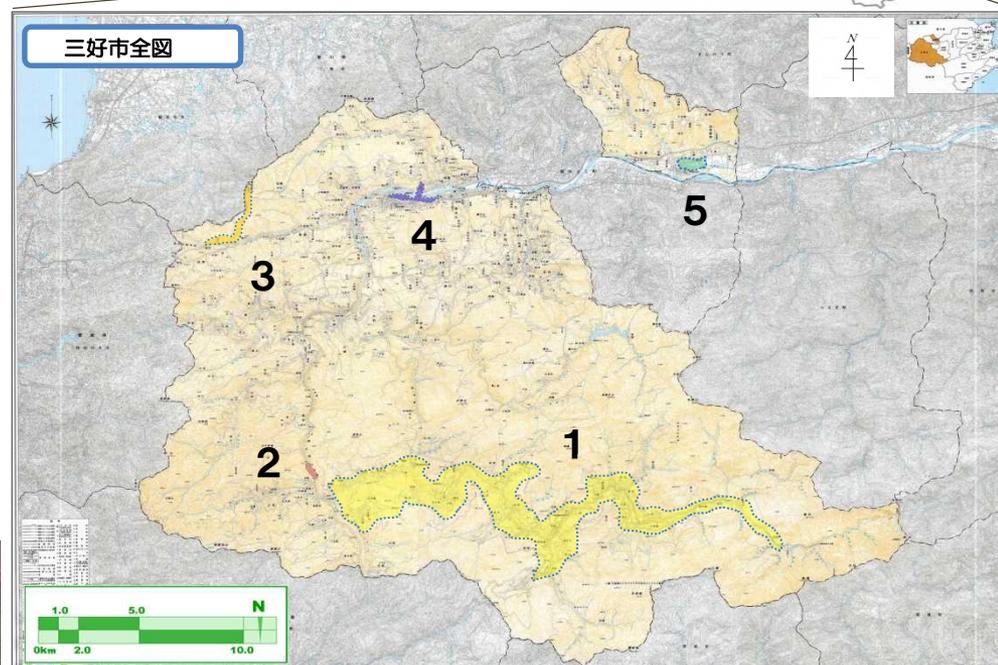


三好市の維持向上すべき歴史的風致

本市には、高知県から徳島県を流れる、全長194km・流域面積3,750km²の一級河川である「吉野川」が通っており、本川には、それぞれの地域から支川が流れている。これら地域を流れる川は、その流域の景観や風土を代表している。吉野川上流域では、1,000m級の山々に囲まれて、中心には祖谷川を有する隠れ里として多くの平家伝説が語り継がれてきている祖谷地域と、景勝地である一方で危険な意味合いを持つことから近寄ることのないよう妖怪伝説等が残されている大歩危小歩危地域があり、独自の文化で発展を遂げてきている。中流域では、香川県及び愛媛県との国境であったため、宿場町、商家としての繁栄した町並みが多く残されており、箸蔵寺をはじめとした神社仏閣は商売繁盛、家内繁栄の願いから多くの人々の信仰を厚く受けて続けてきた。脈々と信仰心は受け継がれており、祭礼行事は華やかに行われている。このように吉野川流域をはじめ、それぞれの流域に残されている歴史や文化は、人々の生活と一体となって三好市固有の歴史的風致を形成している。

■三好市の位置



1. 吉野川支流祖谷川流域に残る歴史的風致（祖谷）
2. 吉野川上流域に残る歴史的風致（大歩危小歩危）
3. 吉野川支流馬路川流域に残る歴史的風致（池田町佐野）
4. 吉野川中流域に残る歴史的風致（池田町及び井川町）
5. 吉野川支流河内谷川流域に残る歴史的風致（三野町）

1. 吉野川支流祖谷川流域に残る歴史的風致（祖谷）

祖谷地方には、伝統的な古民家や平家伝説に関連する伝統的建造物と、周辺の急峻地形に形成されるのどかな段畑風景、そして、厳しい自然環境のもとで伝統生業や生活慣習を大切に継承する人々の姿がある。この地に古くから伝承されてきた平家伝説は、こうした固有の風土によって育まれ、脈々と今まで受け継がれてきたものである。素朴な山村集落の原風景と平家伝説が一体となった風情には、地域固有の歴史と伝統が醸し出されている。

祖谷に見られる山村集落→



2. 吉野川上流域に残る歴史的風致（大歩危小歩危）

明治24年から25年の工事で開通した「四国新道」（現国道32号線）の開通により、道路から見える「大歩危小歩危」の景色は景勝地と呼ぶにふさわしく、大歩危小歩危峽を舟下りで観賞するようになってからは、観光地として広く認知されていった。また危険な場所を意味する大歩危小歩危には、住民や通行人の安全を祈願する岩本神社や地藏菩薩が建立され信仰されている。

大歩危小歩危峽と船下り→



3. 吉野川支流馬路川流域に残る歴史的風致（池田町佐野）

佐野の町は、阿波と伊予、讃岐の接点に位置し交通の要衝地であったと共に四国霊場六十六番札所「雲辺寺」への廻路道もあったことで、宿場町や商家町としても栄えていった歴史がある。現在では、国道の開通等によって当時のような賑わいは見ることができないが、馬路川と平行する旧街道と町並みには、秋には佐野神社の例祭による太鼓台が運行する光景が見られ、また日々雲辺寺へ向かうお廻路さんの姿や地元住民によるお接待の様子が見られる。

お廻路さんとお接待の様子→



4. 吉野川中流域に残る歴史的風致（池田町及び井川町）

池田町と井川町に、伝統的な町並みが形成された背景には、吉野川水運とタバコ産業が深く関わっており、タバコの一大産地として栄えた池田町と井川町で製造される「刻みタバコ」は全国的に広がり、販路が拡大され未曾有の繁栄がこの地域にもたらした。町並みは、タバコだけでなく酒蔵や呉服屋といった商売で主に形成されていき、今に見ることができる。当時は、商売繁盛、家内繁栄と働く人々の心の拠りどころとして、箸蔵寺や今宮神社等の信仰が行われ、多くの奉納者に池田町と井川町の商家の名が刻まれている。こうした信仰心は伝統的な年中行事が受け継がれ、神社等の例祭は勿論のこと、夏の盆には吉野川で灯籠流しが行われ、町並みでは阿波踊りが行われる。

阿波踊りの様子→



5. 吉野川支流河内谷川流域に残る歴史的風致（三野町）

水の豊かな吉野川を見下ろして水不足には悩まされ、またそんな吉野川の洪水にも悩まされてきた三野町。気候は温暖であった三野町は、旧石器時代に早くも人跡を残し縄文・弥生、古墳・古代にそれぞれの時代に発展と遂げてきた。水不足に悩まされながらも古くから三村用水と溜池によって水田を維持し、三好郡市一の稲作地帯を作りあげてきた。秋の稲の収穫時期を迎えるまで、水田を守り続ける活動は脈々と受け継がれている。

稲の収穫の様子→



重点区域の名称及び面積

1. 吉野川支流祖谷流域「祖谷地区」 約162ha
2. 吉野川支流馬路川流域「池田町佐野築」 約12ha
3. 吉野川中流域「池田町及び井川町地区」 約30ha

三好市の重点区域における施策・事業概要

重点区域において、人口減少や少子高齢化の進展を背景に、維持管理が困難となる歴史的建造物の保存・活用や、「西祖谷の神代踊り」をはじめとする地域の祭礼行事・伝統文化等の継承に資する事業に重点的に取り組むとともに、池田町及び井川町に残る「うだつの町並み」の活動拠点施設の整備や無電柱化等による良好な景観の創出など、市街地及び市域全体での観光客の更なる回遊性の向上に資する事業を展開し、各課題の解消を目指す。

事業の実施に際しては、施設やその周辺の歴史的背景を十分に調査するとともに、周辺の景観に配慮し、地域住民や関連団体などと十分な協議調整をしたうえで実施する。また、国や県の補助金制度を有効に活用していくよう検討し、整備を行った施設は、積極的な公開・活用を行い歴史的風致の維持向上を図る。

I 歴史的建造物の保存と活用に関する事業

近年の少子高齢化や過疎化他市街地においても、若者の都市流出が進んだことにより空き家は増加し続け、歴史的建造物の維持保存が難しい状況となっている。こうした状況を踏まえ空き家となった商家を取得又は借り上げのうえ修理修景を行い、地域の歴史的風致の核となる施設として整備する。

地域住民による空き家活用⇒



II 歴史的な建造物の資材確保に関する事業

市内に有する16棟の茅葺き屋根である歴史的建造物と、シラクチカズラ（ツル）で編まれた橋である「祖谷の蔓橋」は、原材料が自然植物であるため、資材確保が困難である。そのため、資材の自生地調査をはじめ、「ふるさと文化財の森」をはじめとする制度を活用し、資材確保に努める。

茅刈り技術育成⇒



III 歴史的風致を形成する周辺の景観整備に関する事業

歴史的風致を形成するものとして、祖谷、大歩危小歩危に見られる「山村集落」と池田町や井川町に見られる「うだつの町並み」が見られる。しかしながら、過去の高度経済成長や観光地化したことにより、景観にそぐわない建造物や工作物が建てられてきた。伝統的な町並み形成の再生を図るため、景観を阻害する工作物の「見えない化」などの整備を行う。

景観を阻害する電線⇒



IV 民俗芸能及び郷土芸能の継承と担い手及び伝統技術者の育成に関する事業

近年の人口減少及び少子高齢化、若者の都市流失に伴う民俗芸能の後継者不足は深刻であり、古来の伝統的な形態が失われつつあるため、担い手育成のため地域内外の学校・地域との歴史文化教育を推進し、「見る・聞く・触れる」の体験型プログラムを実施する。

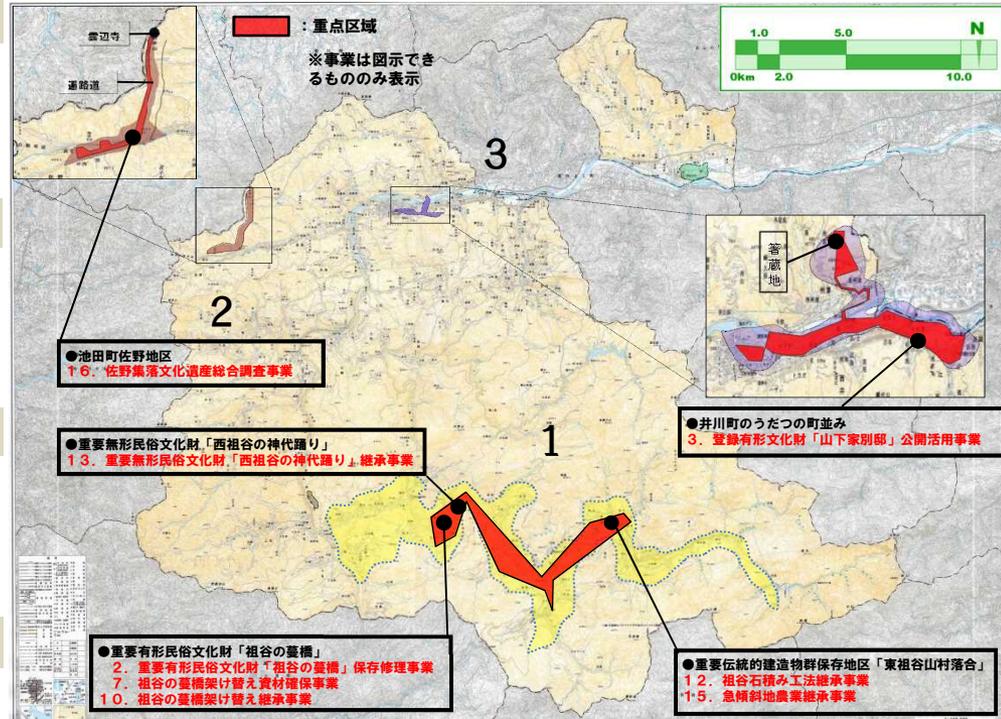
民俗芸能を体験する地元小学生⇒



V 歴史的文化遗产の掘り起こしと価値付けに関する事業

長期間の空き家に伴い老朽化が進み解体が行われている。こうした建造物の中には歴史的な価値が高いものも少なくない。今後も、歴史的価値の高い文化遺産が掘り起こされず失われていくことがないよう、各地域ごとに自治会等と連携し建造物のみならず総合調査を実施する。

山村集落にある歴史的建造物を調査⇒



I 歴史的建造物の保存と活用に関する事業

1. 歴史的建造物保存修理事業
2. 重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」保存修理事業
3. 登録有形文化財「山道家別邸」保存修理事業
4. 文化財の保存・修復と活用事業
5. 歴史的建造物等の公開及び活用事業

II 歴史的な建造物の資材確保に関する事業

6. 茅葺屋根葺き替え資材確保事業
7. 祖谷の蔓橋架け替え資材確保事業

III 歴史的風致を形成する周辺の景観整備に関する事業

8. 景観整備事業
9. 無電柱化等事業（池田町及び井川町の「うだつの町並み」）

IV 民俗芸能及び郷土芸能の継承と担い手及び伝統技術者の育成に関する事業

10. 祖谷の蔓橋架け替え継承事業
11. 茅葺き屋根保存団体の設立及び継承事業
12. 祖谷石積み工法継承事業
13. 重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊り」継承事業
14. 伝統行事担い手支援事業
15. 急傾斜地農業継承事業

V 歴史的文化遗产の掘り起こしと価値付けに関する事業

16. 佐野風落文化遺産総合調査事業
17. 歴史的文化遗产の掘り起こしと保存・継承活動事業
18. 歴史的建造物空き家相談事業

※赤字：重点区域対象事業・黒文字：市内全域対象事業